

第21回新潟市大規模小売店舗立地審議会 議事録

日 時： 平成24年7月9日（月）午後2時30分から
場 所： 新潟市役所第2分館 2-401会議室
出席者： 相澤委員、岩瀬委員、及川委員、白井委員、松本委員、安田委員
審議事項： 新潟青山ショッピングセンターの変更届出について（1回目）
審議内容： 事務局から変更計画の概要説明を行った後、審議を行った。

委員 荷さばき施設の建物形状を詳しく知りたい。オープンな形状なのか、すべて囲われているのか、構造によって周辺への影響が大きく異なってしまう。より詳しい資料の提出を設置者に求めたい。

委員 バリアフリーについては、どのようなバリアフリーにするのか。車いす、あるいは障害者の車の駐車場所やどのようにして出入りするのか、スロープはどのようにするのか等、この図面では分からない。

委員 届出書が全体的に説明不足と感じられる。検討した内容をきちんと載せていただきたかった。不明な点は11月の現地視察までには時間があるので、これから意見をどんどん出させてもらって、それに対してきちんと配慮された回答が入った最終的なアセスメント、評価書を出してもらいたい。

委員 市の助言に対する見解が今日の資料に反映されていた方がよかったと思う。例えば、街並みへの配慮やユニバーサルデザインについて具体的に表現されているとよかった。以前の店舗ではパークアンドライドを実施していたが、今回はどうするのかという質問に対して、開店後に検討するということがあったが、それに関して今はどのように考えているのか。コミュニティの中心の役割を担うことを考えているのであれば、もっと具体的に示してほしい。

委員 図面を見ると、750台の駐車場のうち531台は2階の屋上にある。すべての経路で1階に下がり、その先は出入口4に向かう経路になっている。他の出口も存在するが、基本は出入口4に向かう経路となっている。帰りの経路に混雑の発生が懸念されるため、対策を検討すべきと考える。

委員 防音壁No. 4と5の間から音がすり抜けてしまう事が心配される。予測点CとDの間に予測点が設けられるべきと考える。現在は住宅が無いとの申し出であ

るが、いずれ住宅が建設される可能性もあるため、予測と対策を検討して欲しい。

防音壁の効果について、とても好条件の効果で予測されている。もう少し専門的な根拠を示して検討結果を示して欲しい。

委員 もう少し整理していただいて、その上でもう一度精査した方がよいのではないか。例えば、どのようにまちなかにつくって、地域のコミュニティとどのようにしていくのかという哲学が見えない。また、災害に対してどのような考えを持っているのか。また、省エネと言ってLEDの対応をするのだろうか、前の店舗と比較してどれくらいのエネルギー、炭酸ガスの排出量を減らすのか。駐車場については、市から透水性のコンクリートをはるように指導していると思うが、そのようなものを使うのか。環境、二酸化炭素、温暖化に対する配慮をどのように行うのか。国の法律では時代遅れなものになっているので、設置者自身が新しい地域社会のコミュニティの一員としてこのようにつくるということを見せてほしい。

委員 防災・防犯対策への協力についてだが、市や県と協定を締結しているが、その中には店自身が行うことは含まれていないのではないかと思う。協定しているものの他に、独自に災害時の誘導や伝達等、お客様に対する対応をもう少し分かるようにしてほしい。

委員 避難誘導の社員教育を徹底するというだけでなく、具体的にどのように誘導するのか、天井の看板等が落ちてこないようにどのような対応をするのか等、きちんとしてほしい。

委員 大店法の趣旨は新たに出店することによって、周辺に著しいマイナスの影響を与えないことだ。来店者に対しても、そこに来ることによってマイナスにならないことが前提だ。それを見た上で問題がなければよいのではないかと判断する。マイナスとはどのような面があるかという、例えば、今までは交通量の問題や騒音や匂いといったことが決められていた。最近の状況を考えると、地震が起きたとき、来店者が被害に巻き込まれないように担保されているかという新しい見解、視点があってもよいのではないかと思う。その面からいうと、防災というのは単なるひとくくりではなく、具体的な中身、例えば天井からものが落ちてこないか、来客者の安全な避難誘導の体制等、しかるべく検討すべきだと思う。世の中の動きを見た対応も盛り込んだ書類を作成してもらいたい。

委員 指針、ガイドラインだけでなく、原発事故以降の世の中の変化をとらえたものでなければならない。

委員 駐車場台数について、実績値に基づいて決定されているが、指針に基づく計算よりかなり少ない台数となっている。この青山ショッピングセンターは指針による予測よりかなり少ない客しか来ていないということになるが、その少ない理由について質問をした。それについて答えていない。市内のシネマコンプレックスやゲームセンター、アミューズメント施設、飲食テナントが多く入った広域商圈型店舗とは異なると言っているが、他の施設が入っていれば、その施設分の駐車場を足しているわけで、私が言っているのは店舗面積部分だ。本当に青山はこんなに客数が少ないのか。そうだとすることであれば、新たに改装オープンすれば、普通の店舗並みの数字になるのではないかと疑問を持っている。

委員 要するに駐車台数を増やしてほしいということか。

委員 私はトータル的には駐車場が多くない方がよいと思っている。全体としては駐車場が少なくて、あそこの駐車場は入りにくいと言って客が敬遠するならば、それでよいと思うが、理屈が合わないので質問した。来客数を増やすことを期待して改築を計画したのではないのか。

委員 実態に合わせてこのような数値がでてくるというのは、ある面ではよいことだと思うが、計画したことについてのフィードバックがほしい。概要で計算したものを調査してもらって、どのくらいクリアされているのか等、知りたい。

委員 今は郊外型の店舗ばかりだが、この地点に出店されることは非常によいことでもあると思う。この件については、内容的には改修ではなく、新規案件と同じようなかたちで議論していかなければならない。今日出た意見を検討してもらって、それを踏まえて整理したものを次回に出してほしい。

委員 今日の意見を整理した上で次の段階に進むことになる。
事務局で今日の内容を整理し、次回の審議会につなげていただきたいと思う。

(現地調査を行い、今回の審議会で疑問点となった点について設置者からの回答を得た上で、次回の審議会を開催する事を確認し、審議会を終えた。)